



パスファインダー Pathfinder ～あるテーマについて調べる際に、役立つ資料や調べ方を紹介します～

山梨県内には、富士山信仰や、武田信玄・武田家ゆかりの神社仏閣など、歴史のある社寺がたくさんあります。このパスファインダーでは、山梨県内にある社寺(神社や寺院)について調べるときに役立つ資料を、当館の地域資料を中心に紹介します。

1. 神社や寺院の概要を調べる

社寺を訪れるときなどに知りたい、所在地や由緒・沿革、建物や所蔵している文化財等、社寺の概要について調べるには、観光ガイドや神社名鑑、寺院名鑑を利用しましょう。

■『やまなしのお寺と神社』(やまなし観光推進機構／[編]・発行 [2016 年])【K18/ヤマ】

山梨県のエリアごとに、主な寺院と神社を紹介した観光パンフレットです。見どころのカラー写真や近隣スポット、モデルコースの紹介などが掲載されています。

■『山梨県神社誌 新編』(山梨県神道青年会／編・発行 2012 年)【K17/ヤマ】

神社本庁の包括下にある山梨県内の神社 1,267 社について、支部ごとに、鎮座地、祭神、例祭日、宮司名、境内地(面積)、氏子戸数、由緒沿革を、カラー写真と共に掲載しています。

『山梨県神社誌 新編』の内容は、山梨県神社庁 web サイトで閲覧できます。

* 山梨県神社庁 web サイト「県内神社の詳細」ページで、神社名及びキーワード(鎮座地、御祭神、由緒沿革、祭事)で検索ができたり、地域ごとの神社一覧が表示できます。
(<https://www.yamanashi-jinjacho.or.jp/>)



■『全国神社名鑑』全 2 巻(全国神社名鑑刊行会史学センター／編纂・発行 1977 年)【175.9/ゼン/1-2】

全国の有名神社約 6,400 社の所在地、祭神、建物、由緒、文化財などが掲載されています。山梨県の神社は上巻の pp.453-497 に収載されています。

■『大日本寺院総覧』全 2 巻(堀由蔵／編 名著刊行会 1966 年)【185.1/ホリ/1-2】

1913(大正2)年末現在で現存する各宗の全寺院7万1,000余と境外仏堂200余を採録し、当時の行政区画(朝鮮・台湾などを含む)ごとに、宗派、所在地のほか、一部寺院については寺伝による縁起などの解説があります。山梨県の寺院は下巻の pp.1517-1580 に収載されています。

■『全国寺院大鑑』全 3 巻(全国寺院大鑑編纂委員会／編集 法蔵館 1991 年)【185.0/ゼン/1-3】

都道府県別の市町村ごとに、約 80,000 件の寺院について、宗派ごとに配列した寺院名、宗派名、郵便番号・所在地、電話番号、代表者の一覧表を掲載しています。山梨県の寺院は上巻の pp.565-601 に収載されていますが、縁起や由緒等の記載はありません。

2. 山梨関係資料の辞典・事典類で調べる

山梨県内の寺社に関する専門の辞典・事典類はありませんが、山梨県に関することばをまとめた百科事典や地名辞典が役立つこともあります。

■『山梨百科事典』(山梨日日新聞社／編集・発行 1989 年)【K03/ヤマ】

山梨県に関する人文科学、社会科学、自然科学のすべての事象について、基礎的、資料的なことばを集大成した事典です。神社についても項目立てがあり、由緒・歴史や文化財等が記載されているものがあります。巻末に索引はカテゴリーで分類されており、「神社」「寺」の名称から引くことができます。

■『角川日本地名大辞典 第19巻 山梨県』（「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編 角川書店 1984年）【K29/カト/19】

各都道府県別に編集された本格的な地名地誌大辞典です。地名編に社寺についても項目立てがあり、由緒・歴史や文化財等が記載されているものがあります。

■『日本歴史地名大系 第19巻 山梨県の地名』（平凡社 1995年）【K29/ニホ/19】

行政地名、人文地名、自然地名、歴史的建造物や遺構なども採録した各県別歴史地名辞典です。社寺についても項目立てがあり、由緒・歴史や文化財等が記載されているものがあります。

3. もっと詳しく調べる

山梨県内の寺社の由緒・沿革・歴史等について調査・研究している方のための基礎資料を紹介します。

■蔵書検索システムで探す

キーワード欄に神社名を入力して検索すると、『武田神社誌』『甲斐善光寺』のような、タイトル、著者、出版者、件名等にその寺社名が含まれている本が検索できます。

■県史、各市町村史誌

『山梨県史』や各市町村史誌の「文化財編」や、「宗教」などの章に、域内の寺社の由緒等について書かれていることがあります。

■『大日本地誌大系 甲斐国誌』全5巻（佐藤八郎／校訂 雄山閣 1998年）【K21/マツ/2】

1814（文化11）年に甲府勤番支配の松平定能（さだまさ）が、幕府の内命を受けて編集した甲斐の地誌です。山梨県の歴史研究の基礎的な史料で、巻五十五～巻七十二が神社部、巻七十三～巻九十が仏寺部、巻九十一が修験となっており、活字版として編集された『大日本地誌大系』の「甲斐国志」では第3巻に収められています。第5巻の巻末の索引には寺社名索引があります。

■『甲斐国社記・寺記』全4巻（山梨県立図書館／編・発行 1966-1969年）【K16/ヤマ/1-4】

1868（慶応4）年に甲府寺社総轄職に提出された、甲斐国内の神社・寺院の由緒書、伽藍・堂宇の規模、古文書、什宝、伝説などを記した全80巻からなる古文書の活字版です。全4巻のうち第1巻が神社編、第2巻が天台宗・真言宗・臨済宗、第3巻が曹洞宗、第4巻が浄土宗・浄土真宗・時宗・日蓮宗・修験を収めています。

『甲斐国志』『甲斐国社記・寺記』で寺院を探すための索引があります。

*『『甲斐国志』『寺記』所載寺院索引（稿）』（秋山敬／編・発行 2004年）【K18/アキ/】

『甲斐国志』『甲斐国社記・寺記』に掲載されている寺院を、宗派別に配列し、該当箇所を簡単に確認できるようにしたインデックスです。



応用編

山梨県内の式内社を調べる

『延喜式』巻第九・十の「神名式」（いわゆる「神名帳」）に記載されている神社を「式内社」（延喜式内社・官社）と言います。甲斐国の式内社は、『延喜式』巻第九「神祇九神名式上」に大1座、小19座の計20座が記載されています。

■『式内社調査報告』全25巻（式内社研究会／編纂 皇学館大学出版部 1976-1995年）【175.2/シキ/1-25】

全国2861社の式内社の由緒、祭神、社殿、境内地、宝物・遺文について、多くの学者たちにより調査した報告書です。各社の写真、現在地・論社地・旧社地の地図が各巻頭に付されています。山梨県内の式内社20座については、第10巻（東海道）のpp.493-577に掲載されており、解説中に典拠として「甲斐国志」のほか「甲斐国巡礼旧神祠記」「甲斐名勝志」「甲斐叢記」などの古文書の記載があります。